

平成21年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	ゲノム伝達の中核にある染色体動原体の方向性を決める分子機構
研究代表者	渡邊 嘉典
審査の所見	応募者は、減数分裂の染色体分配機構の分子レベルでの解明に優れた成果を上げてきた気鋭の研究者である。現在、特別推進研究を遂行中であり、その成果は国内外ともに高い評価を得ている。本研究課題は、その成果を踏まえた今後の方向性の設定が明確であり、マウスを用いた解析計画にはやや探索的で具体性には欠ける印象があるものの、いくつかの端緒が現れており、引き続き成果が期待出来る。国際的にも競争の激しい分野にあって、これまでの研究の優位性を維持する意味でも、特別推進研究として採択すべきと判断した。